

明日の精神保健福祉活動を描き出すために
新しい支援の枠組みとコンシューマーのイニシアティブ
学び合い、話し合い、創り合おう
カナダとやどかりの里の活動を素材として

1日目の討論を振り返って

総合司会（日野陽子，やどかり出版）お早うございます。昨日のセミナーはいかがでしたか。今日は昨日の話を踏まえて、さらに深めていきたいと思います。

昨日はアンケートをたくさん書いてくださって有難うございました。事務局の夜の打ち合わせでとても参考になりました。

それで、夕べの事務局会議の中で話し合ったことを、今日のプログラムの前に披露したいと思います。今日の討論の参考にさせていただきたいと思います。

メンバーシップの大切さが語られた

大澤美紀（大宮中部生活支援センター）アンケートを一通り読ませていただいた上で、NCAA（New Japan and Canada Consumer Initiative Activities Association）で昨日のお話を受けて、こういうことが言えるのではないかと、ということをもとめましたので、今からOHPを使ってご説明したいと思います。ガリポルトさんと香野さんの話の中から図4のようなエッセンスを出してみました。これは人の雰囲気だと思ってください。右側がガリポルトさんの昨日のお話です。